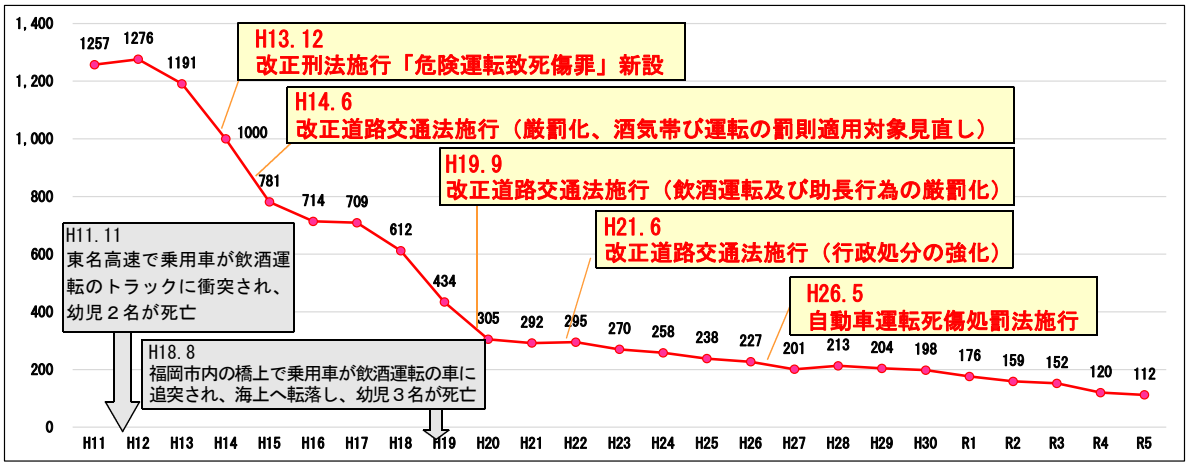
飲酒運転は絶対にしない！させない！

令和６年７月
交通企画課

アルコールは”少量”でも脳の機能を麻痺させ、安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力などが低下し、交通事故に結びつく危険性を高めます。

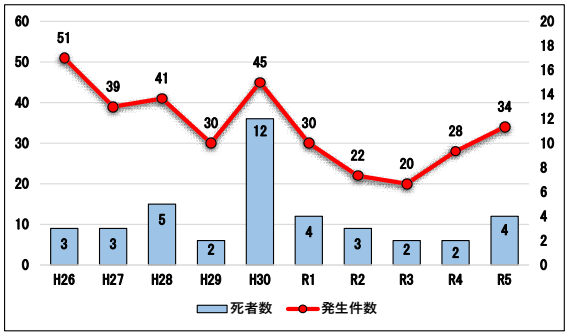
飲酒したら絶対に車両等を運転してはいけません！

１　国内の飲酒運転による死亡事故発生件数の推移（警察庁統計）

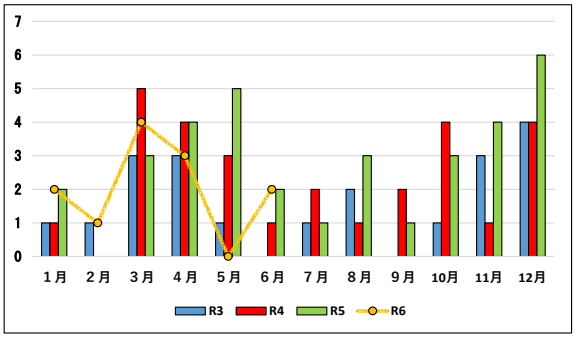


飲酒運転・・・第１当事者原付以上、飲酒あり

２　県内の飲酒運転による交通事故発生状況推移
（過去10年間推移）



３　県内の飲酒運転による交通事故の月別発生状況
（本年と直近３年間との比較）



４　飲酒の有無による死亡事故率の比較
（過去10年間のうちに県内で発生した交通事故で、第１当事者原付以上）

	発生件数	うち死亡事故件数	死亡事故率
飲酒あり	340	35	10.3%
飲酒なし	29,832	322	1.1%

死亡事故率＝死亡事故件数÷それぞれの区分の発生件数

飲酒ありの死亡事故率は、飲酒なしと比較して約9.4倍

飲酒運転には厳しい行政処分と罰則！

酒酔い運転

- 基礎点数　35点
- 運転者
  ５年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- 車両等の提供者
  ５年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- 酒類の提供者・車両の同乗者
  ３年以下の懲役又は50万円以下の罰金

酒気帯び運転

- 基礎点数　25点（呼気中アルコール濃度0.25mg/l以上）
  13点（呼気中アルコール濃度0.15mg/l以上0.25mg/l未満）
- 運転者
  ３年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 車両等の提供者
  ３年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 酒類の提供者・車両の同乗者
  ２年以下の懲役又は30万円以下の罰金